

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	各種お問い合わせ ☎ 0120-782-031 (通話料無料)
(ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載する方法により行います。

● 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

◇ 日鍛バルブ株式会社

〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋518番地
TEL:0463-82-1311 FAX:0463-82-7413

◇ 当社ホームページのご案内

<https://www.niv.co.jp/>

日鍛バルブ 検索

当社ホームページをリニューアルいたしました。
当社の企業情報をはじめ製品情報や、株主・投資家向けのIR情報など、様々な会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



トップページ



IRページ

◇ 日鍛バルブ株式会社

証券コード：6493

NITTAN VALVE REPORT 第95期 報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

INDEX

株主の皆様へ 01

セグメントの概況 03

特集 05

連結財務情報 07

株式情報／会社情報 09

事業拠点 10

CHALLENGE・CREATION・SPEED

挑戦、創造、スピードをモットーに、
時代のニーズを先取りした
高品質な製品をご提供します。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。



株主の皆様におかれましては、平素より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

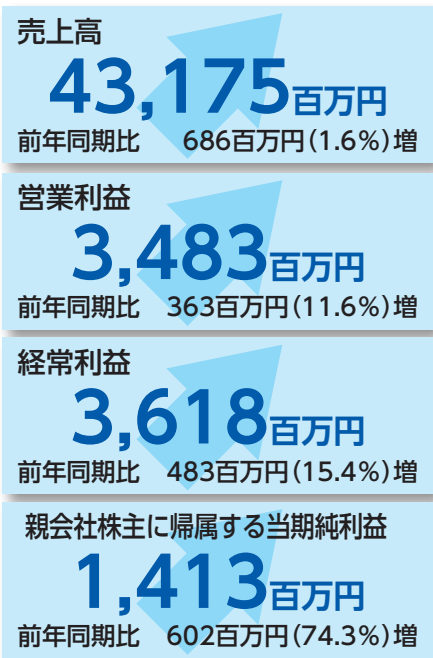
当社第95期(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)が終了いたしましたので、ここに決算と主要項目につきましてご報告申し上げます。

ご報告に先立ちまして、このたび、当社において棚卸資産の過大計上が行われた不適切な会計処理につきまして、株主の皆様をはじめ、お取引先および関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をお掛けいたしましたことを、心よりお詫び申し上げます。当社は、平成28年12月14日に再発防止策を策定し、コンプライアンスや内部統制等の体制と運営の強化を図り、再発防止に向けて取り組んでおります。

引き続き、ご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **金原 利道**

決算ハイライト



※記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

当期の市況について

当連結会計年度における国内経済は、企業収益や雇用情勢の改善など景気は緩やかな回復基調が続きました。先行きについても引き続き回復していくことが期待されますが、海外経済の不確実性や為替・株価の変動影響に留意する必要があります。一方、世界経済は、中国やその他新興国の経済の先行き、政策に関する不確実性による影響などに留意する必要があるものの、全体としては緩やかに回復しています。

また、当社グループが関連する自動車業界は、国内市場は販売に回復の兆しがみられるものの依然として低調でありました。海外市場は中国の需要拡大や北米・欧州の販売好調などを背景に概ね堅調な推移となりました。

当期の取り組みおよび業績について

当社グループは、「基盤強化」、「永続的発展」、「企業風土改革」を柱とする経営方針を掲げ、国内外で競争力を高める施策を積極的に展開してまいりました。

当連結会計年度の業績につきましては、国内事業は、船用部品の受注減の影響等があったものの、中空エンジンバルブの量産拡大等により四輪車用エンジンバルブが大幅に増加し、前年度に比べ増収となりました。海外事業は、中国・タイにおける生産拡大やインド子会社の量産開始等の増加要因があったものの、北米における受注減や為替換算の影響等により海外事業全体では前年度に比べ減収となりました。この結果、売上高は、431億75百万円(前年度比1.6%増)となりました。

損益面につきましては、一部海外事業の受注減、

次期業績の見通し

当社グループがもっとも影響を受ける自動車業界、二輪車業界は人口減少と若年層の保有率低下により国内生産は減少傾向を見込んでおりますが一部製品の受注増など増収を見込む中で生産体制拡大のための設備投資による償却費や人件費増により減益となる見通しです。海外においては、米国、中国、欧州等の経済に不確実性があるものの、自動車、二輪車生産は拡大傾向にあり、当社グループにおいては、中国、アセアンで受注増を見込むものの、米国での受注減の影響があり、円高傾向の影響もあり、

農作物事業立ち上げコスト発生、為替換算の影響等による減益要因はあったものの、国内事業のコスト削減や中国の生産拡大、海外子会社立ち上げコスト減少等の効果により、営業利益は、34億83百万円(前年度比11.6%増)、経常利益は36億18百万円(前年度比15.4%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、過年度決算訂正関連費用の計上があったものの、投資有価証券売却益の計上や法人税等の計上額が少額であったことなどから増加し、14億13百万円(前年度比74.3%増)となりました。

減収、減益の見通しです。次期の連結業績見通しにつきましては、売上高は424億円(前年度比1.8%減)、経常利益は32億円(前年度比11.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は13億50百万円(前年度比4.5%減)を見込んでおります。

なお、上記業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づき、将来の予測が含まれております。したがって、今後の事業運営、経済情勢など内外の状況の変化により実際の業績が予想数値と異なる可能性があります。

第96期の連結業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

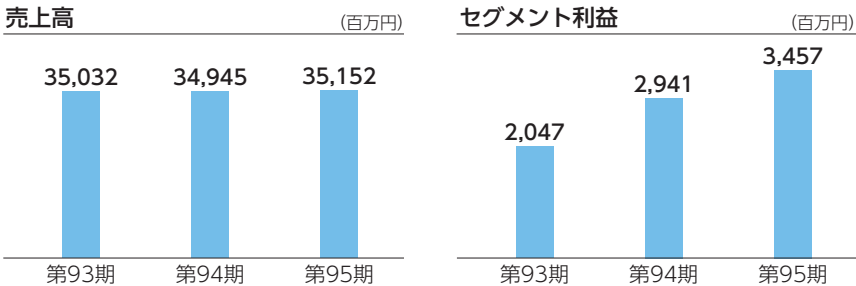
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	配当予測
第2四半期累計	20,100百万円	1,200百万円	1,450百万円	500百万円	6円00銭
通期	42,400百万円	2,850百万円	3,200百万円	1,350百万円	6円00銭

事業別 (連結) 売上高・セグメント利益

小型エンジンバルブ事業



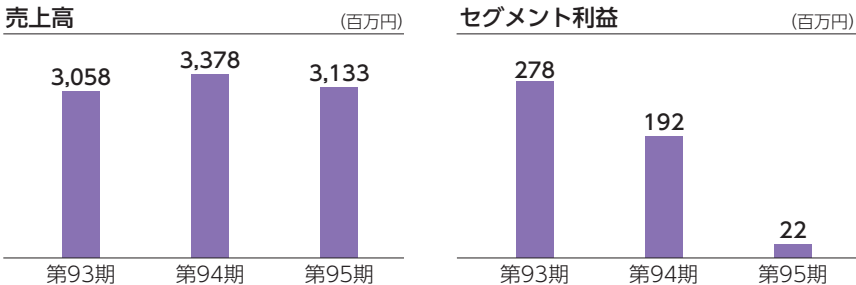
- 国内事業は、中空エンジンバルブの量産拡大や新規量産の立ち上がり等により四輪車用エンジンバルブ、二輪車用エンジンバルブともに増加し増収
- 海外事業は、中国・タイにおける生産拡大やインド子会社の量産開始等の増加要因はあったものの、北米における受注減や為替換算の影響等により減収
- 北米・インドネシアの受注減や為替換算の影響等による減益要因があったものの、国内外におけるコスト減少および中国の生産拡大により増益



船用部品事業



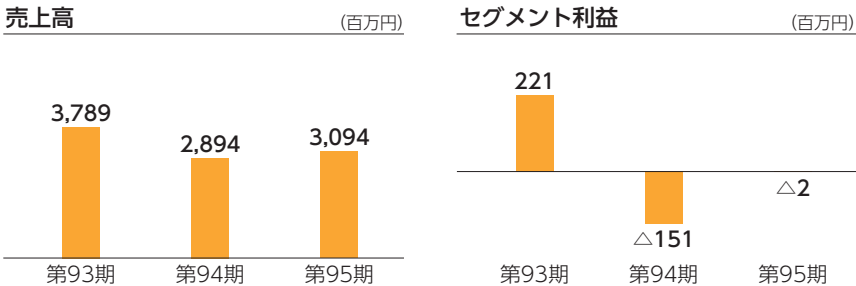
- 円高や需要低迷の影響により組付部品・補給部品の受注が減少し減収



可変動弁・歯車・PBW事業



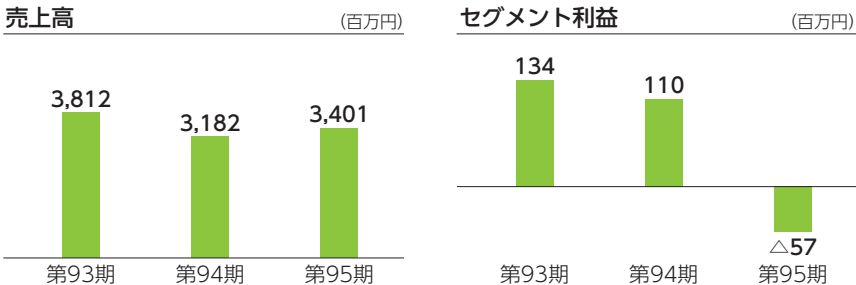
- 可変動弁については、増収
- 精密鍛造歯車については、新規量産の立ち上がり等により自動車用製品が増加し増収



その他事業



- バルブリフターについては、欧州・中国向け製品の受注増加や新規量産の立ち上がりにより増収
- 工作機械については、グループ内部での取引が減少し減収
- ロイヤルティについては、外部顧客からの収入が減少し減収



“国内・海外事業の収益力を強化し、持続的な企業価値の向上を目指す”

■ 2015-2019年度 グローバル中期経営方針

I. 基盤強化・・・ものづくり、業務改善

- ①ものづくり力を強化し、顧客の信頼を高める
- ②改善力を強化し、環境変化に強い体質に変革する
- ③適正な投資と資産管理により、財務基盤を強化する

II. 持続的発展・・・拡販、開発、品質

- ①徹底的な原価改善により、コスト競争力をつける
- ②開発力を強化し、新たな受注を獲得する
- ③品質力の向上により、ブランド力を高める

III. 企業風土改革・・・安全、環境、人材育成、コンプライアンス

- ①人材育成の仕組みを充実させ、グローバル人財を育成する
- ②コンプライアンス体制を整備し、リスクを未然に排除する
- ③安全意識を高め、快適な職場をつくる
- ④環境負荷を低減し、地域に貢献する

当社グループがもっとも影響を受ける自動車業界、二輪車業界につきましては、グローバルでの市場拡大が引き続き見込まれておりますが、内燃機関の効率化などに関連した先進環境製品へのニーズが先進国を中心に一層高まるとともに、新興国においては、市場の拡大による廉価製品へのニーズが高まっております。従来の日系サプライヤーとの競争に加え、製品のモジュール化を推進するメガサプライヤーとの次世代技術を巡る技術開発競争や、低価格部品を提供する新興国ローカルサプライヤーとの価格競争が一段と激化しております。

当社グループは、このような経営環境に対応し持続的な企業価値向上を目指すべく、2015年度から2019年度を期間とする新たなグローバル中期経営方針を策定し、諸施策を実施しております（左記参照）。

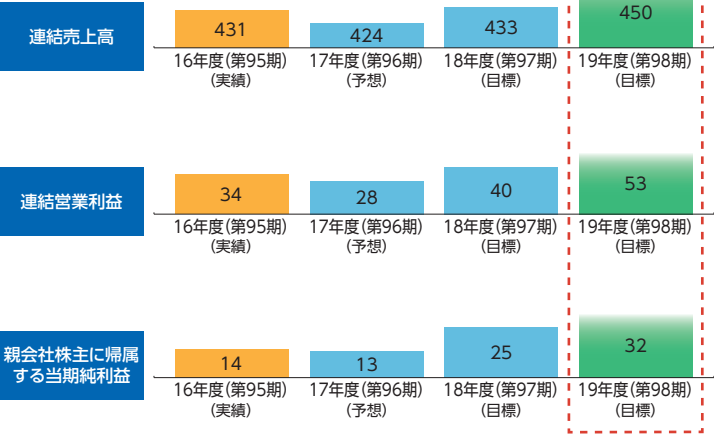
■ 中期経営計画

当社は、経営環境の変化に対応すべく、3年を期間とする中期経営計画を毎年改定するローリング方式としており、2019年度（第98期）を最終年度とする計画を新たに策定いたしました（右図参照）。

基本方針としては、国内および海外事業の収益力を強化することを掲げており、その施策として、国内の小型エンジンバルブ事業においては、中空エンジンバルブ事業の着実な生産・供給体制の確立と既存製品の競争力強化を引き続き行ってまいります。船用部品事業については、補用部品への確実な対応、可変動弁・歯車・PBW事業については、2017年1月より量産を開始したPBW（オートマチックトランスミッション用部品）の生産および今後の増産対応を着実に行ってまいります。また海外事業では、拠点に応じた戦略・諸施策を実行し持続的な成長を目指してまいります。

2019 年度（第 98 期）目標指標

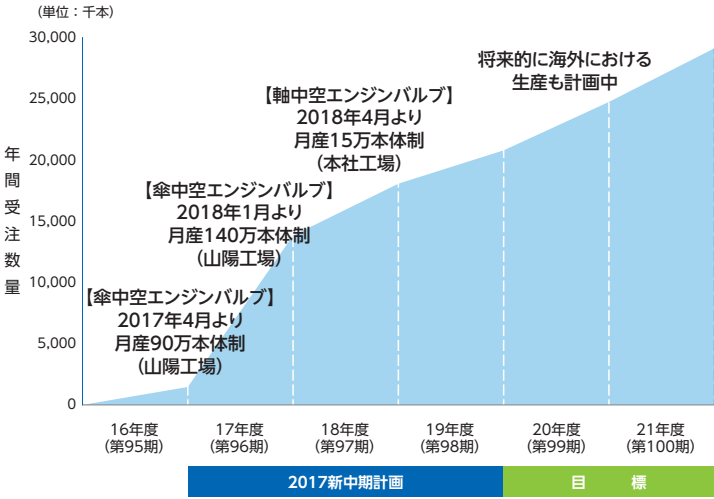
(単位：億円)



■ 中空エンジンバルブ受注計画

当社中期経営計画を達成するためには、付加価値製品の一つである中空エンジンバルブの事業戦略がキーとなっております。近年、過給ダウンサイジング化されたエンジンが増加しておりますが、燃焼室内部が高温になるため、冷却効果がある中空エンジンバルブのニーズが高まっており、2019年度以降においても高水準な受注を見込んでおります（右図参照）。中空エンジンバルブは、軸部のみを中空化した製品（軸中空弁）と、軸部と傘部の両方を中空化した製品（傘中空弁）があります。軸中空弁については、2018年より本社工場（神奈川県）にて量産化を計画しており、傘中空弁については2015年より山陽工場（山口県）にて量産を開始しております。なお、海外での現地生産についても検討を開始しており、今後の当社グループの成長デバイスとして当該事業を拡大してまいります。

中期経営計画のキーデバイスは中空エンジンバルブ



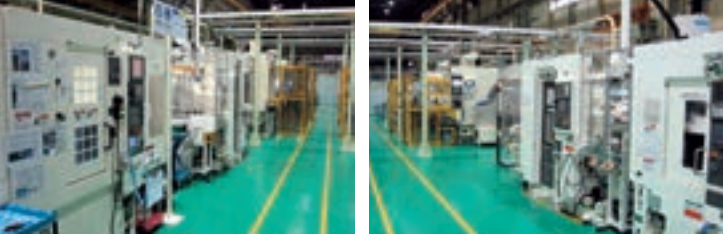
■ PBW（オートマチックトランスミッション用部品）

次世代戦略商品として開発しておりました、PBW（オートマチックトランスミッション用部品）が、2017年1月より本社工場（神奈川県）にて量産を開始いたしました。当該製品は、従来機構（電動式）を油圧化したもので、電動式より安価な価格・軽量化を実現し、室内インテリアの自由度を上げる製品となっております。また当該製品は、高級車から順次搭載されてまいります。販売数は2019年度（第98期）に80万個以上になる見込みであり、今後の増産に対応した生産体制の構築も、引き続き実施してまいります。（右記参照）。

当該製品については、動弁系部品ではない製品として、精密鍛造歯車に続く当社製品の一つとして成長させてまいります。

なお、当該製品のセグメントについては、「可変動弁・歯車・PBW」となります。

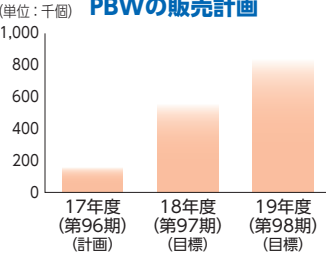
PBWの増産体制準備は着実に進行中



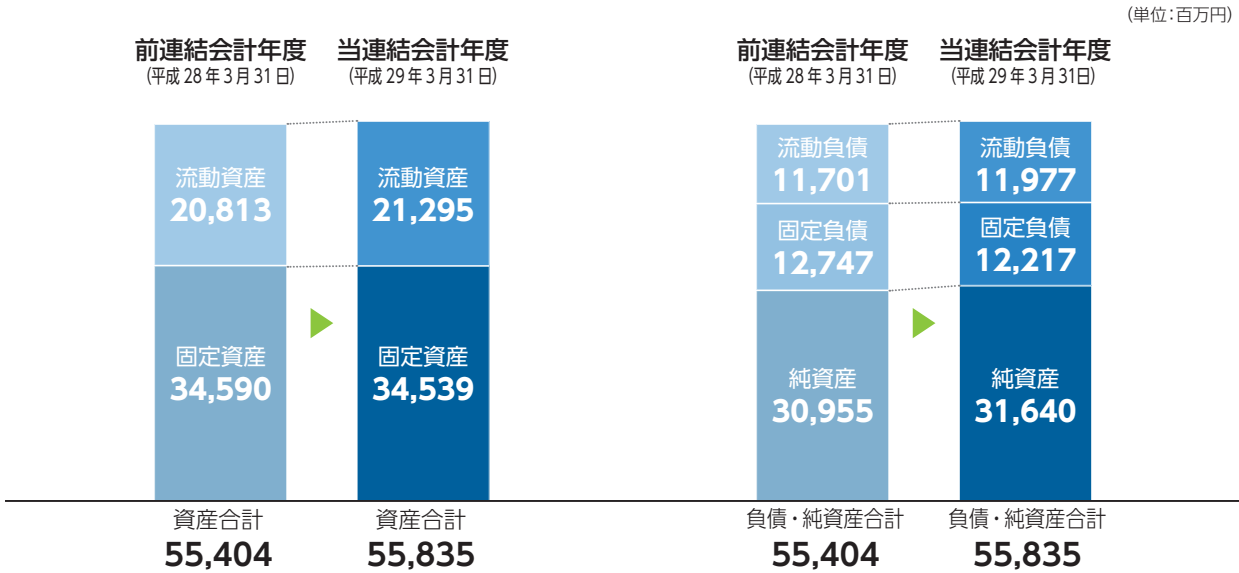
PBWの特徴

- 電動式より安価な価格を実現
- 高級車から順次搭載

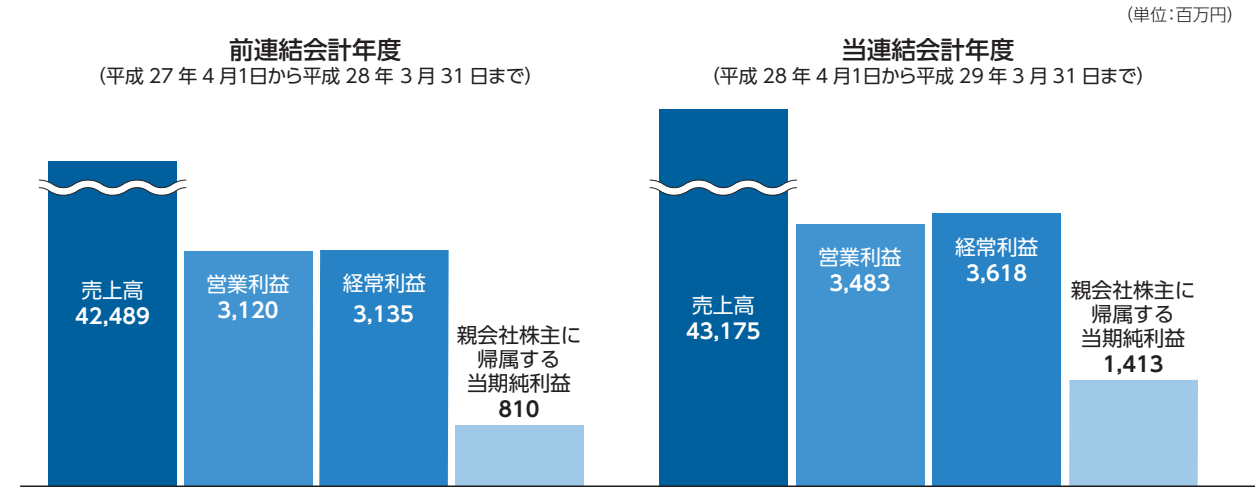
PBWの販売計画



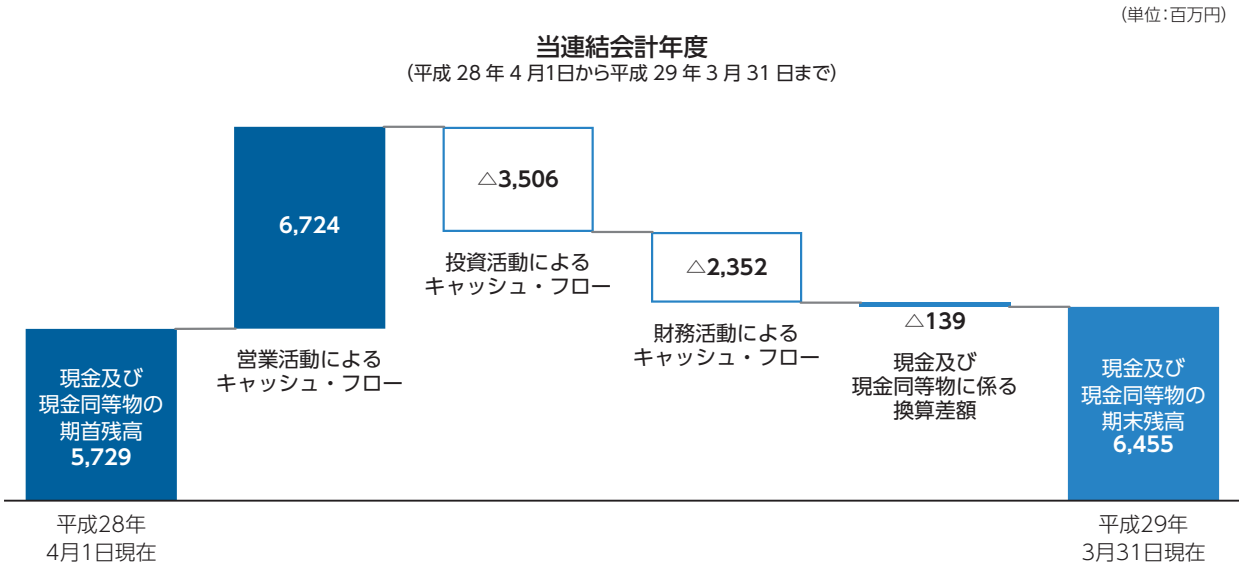
連結貸借対照表



連結損益計算書



連結キャッシュ・フロー計算書



財務のポイント

- 資産
流動資産は、主に現金預金の増加により481百万円増加し、21,295百万円となりました。固定資産は、主に機械装置および運搬具の減少により51百万円減少し、34,539百万円となりました。
- 負債
流動負債は、主に支払手形および買掛金の増加により275百万円増加し、11,977百万円となりました。固定負債は、主に長期借入金および社債の減少により529百万円減少し、12,217百万円となりました。
- 純資産
純資産は、主に利益増加による株主資本の増加のため684百万円増加し、31,640百万円となりました。
- 営業活動によるキャッシュ・フロー
仕入債務の増加や棚卸資産の減少等により、営業活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ1,470百万円増加し、6,724百万円となりました。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
有形および無形固定資産の取得による支出の増加等により、投資活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ支出が41百万円増加し、3,506百万円となりました。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
長期借入金の返済による支出の増加や長期借入による収入の減少等により、財務活動によるキャッシュ・フローは、前連結会計年度に比べ支出が1,346百万円増加し、2,352百万円となりました。

(注)記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

株式の状況

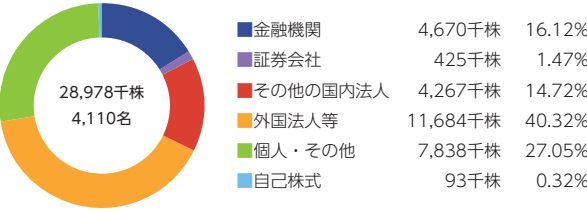
発行可能株式総数	89,000,000株
発行済株式の総数	28,978,860株
株主数	4,110名

大株主 上位10名

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
イートンコーポレーション	8,693	30.00
株式会社横浜銀行	1,302	4.49
本田技研工業株式会社	1,233	4.26
ビーエヌピーパリバセキュリティーズサービスルクセンブルグ/ジャスデック/エフアイエム/ルクセンブルグ ファンド/ユーシーアイティーエスアセット	1,200	4.14
トヨタ自動車株式会社	1,057	3.65
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	783	2.70
日本証券金融株式会社	534	1.84
株式会社シンニッタン	517	1.78
ノーザントラストカンパニー（エイブイエフシー） アカウントノントリーティー	516	1.78
株式会社みずほ銀行	472	1.63

（注）イートンコーポレーションは所有する当社株式8,693,660株のうち799,800株を
ザバンクオブニューヨークメロン140042（常任代理人株式会社みずほ銀行決済管
業部）に信託しており、同社名義で株主名簿に記載されています。

株式分布状況



会社概要

会社名	日鍛バルブ株式会社
英文会社名	NITTAN VALVE CO., LTD.
本社所在地	神奈川県秦野市曽屋518番地
設立年月日	昭和23年11月10日
資本金	4,530,543千円
従業員人数	677名

主要な事業内容
下記製品の製造及び販売
・小型エンジンバルブ（乗用車・二輪車・トラ
ック・バス・汎用製品等のエンジンバルブ）
・船用部品（船舶用エンジンバルブ、汎用製品
のエンジンバルブ）
・可変動弁・歯車・PBW（自動車用電磁式連続
カム位相可変機構、自動車・トラック・農業機
械・建設機械・産業機械等の精密鍛造歯車、
オートマチックトランスミッション用部品）
・その他（バルブリフター、ローラーロッカー
アーム、工作機械製造販売ほか）

役員一覧（平成29年6月23日現在）

代表取締役社長	金原利道
常務取締役執行役員	李太煥
取締役執行役員	中元一雄
取締役執行役員	井上文雄
取締役執行役員	六浦満夫
取締役執行役員	桧村雅人
取締役執行役員	大野浩
取締役執行役員	安藤輝明
取締役執行役員	鈴木隆司
取締役（社外）	木全紀之
取締役（社外）	金岩
監査役（常勤）	菊地浩二
監査役（社外）	渡辺博昭
監査役（社外）	村田浩
監査役（社外）	下山秀弥

国内の主要な事業拠点

本社工場	〒257-0031 神奈川県秦野市曽屋518番地 TEL.0463-82-1311 FAX.0463-82-7413
堀山下工場	〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下183番3号 TEL.0463-89-1177 FAX.0463-89-1178
山陽工場	〒757-0003 山口県山陽小野田市大字山野井 字国木1173番20号 TEL.0836-73-1611 FAX.0836-73-1616
東京事務所	〒160-0023 東京都新宿区西新宿8丁目4番2号 野村不動産西新宿ビル2階 TEL.03-5337-3211 FAX.03-5337-3210
中部営業所	〒451-0045 愛知県名古屋市区西駅2丁目34番20号 CK23名駅前ビル5階 TEL.052-485-6121 FAX.052-562-0500
広島営業所	〒732-0053 広島県広島市東区若草町12番1号 アクティブインターシティ広島11階 TEL.082-258-3125 FAX.082-258-3144

グローバル生産拠点

